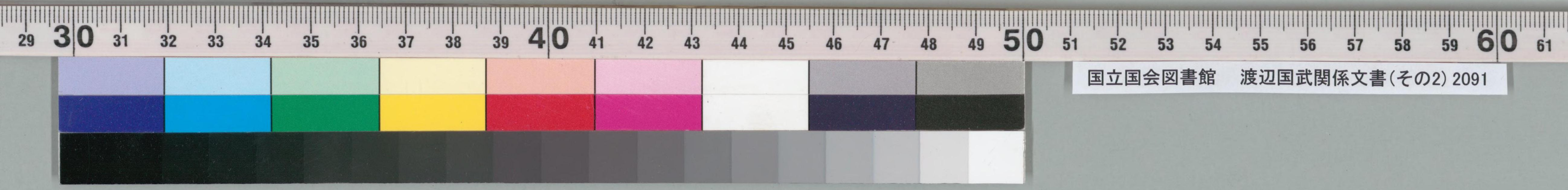


新辨奸論

新辨奸論

新辨奸論

甚之矣世人、眼孔豆、如クニシテ
其人物ヲ論スル深ク心術志操ノ
在ル所ヲ察セス附知雷同徒ニ
世ヲ欺キ名ヲ盗ム者ノ為ソニ
著セラレヤ人テ此ニ人マリ身嘗テ
其臺閣ノ高キニ立テ職ヲ機ノ重キ
ニ任シ一毛為ス所アルナク其ノ次
雄ノ驥尾ニ附キ外征黷武ノ凶論
ヲ主張ニ事行ハレスニテ其臺閣ヲ



退キ遂ニ其特論ヲ一變シ民會設
立ノ議ヲ立ツ夫外征黷武ハ專制
君主ノ貪功心ニ出ラ民會設立ハ自
由人民ノ愛國心ニ萌ス二者相及ス
ルヲ何嘗ニ氷火氷炭ノミナラニヤ是
其心術志標ノ在ル所ヲ察スヘキノ
一也後再ヒ其差閥ニ入ルニ及ニテ江華
砲發ノ一報至ルニ逢ヒ以為ク奇機投
スヘキ也ト某ノ守舊頑固者ヲ臨着
ニ相俟ニ内閣分離ノ議ヲ立ツ夫内

閣ヲ今離シ以テ政權ヲ一ニシ以テ王
室ヲ尊嚴ニスル專制政治ノ極度ニ
シテ庸儒ノ常談ナリ立憲國ニ至テ
ハ嘗其權ヲ官民ノ間ニ分ツノミナラ
ス亦之ヲ看宰相ニ分テ各々任責擔保ス
ル所アリ彼是相制ニテ以テ其權衡
ヲ保ツ内閣分離ノ說民會設立ノ
議相及スル亦何嘗ニ氷火氷炭ノミナ
ラニヤ是其心術志標ノ在ル所ヲ察
スヘキ也内閣分離ノ說行ハレス再

ヒ其處閣ヲ退クニ當テ屬望已ニ絶ハ亦
如何トモス可ラナルニ至リ姑ク迹ヲ江
湖ニ潜ム一旦西陲暴興予ノ報ヲ聞クニ
及ニテ旧態再ヒ發之以爲ク奇機授
スハキ也ト遂ニ郷里ニ退キ虚声ヲ張
以テ虚名ヲ博セント欲シ其股肱某
ヲシテ政府ニ説クニ民會設立ノ
ヲ以テセシム曩ニハ專制政治ノ
極度タル内閣分離ヲ以テ退キ今ハ
民會設立ノ議ヲ以テ進マントス

亦異ナラヤ是其心術志操ノ在ル
所ヲ察スハキノ三也夫人家火ヲ失
スルアル親トナリ疎トナリ集頭爛額
以テ之ヲ鎮シ之ヲ滅シ然ニテ後家事
取締ノ得失ニ及フハキ也人テヤ此人ノ
爲ス所ハ然ラス國家内憂外患ノ生
スル毎ニ其弊ニ乘シテ以テ私憤ヲ
洩サントス是人家火ヲ失スルヲ復倅
トシ強テ要請スル所アル也苟クモ男
子ノ心アル則養老之卒ト云凡此怯

醜卑屈ノ事ヲ為サズ是其心術志標
ノ在ル所ヲ察スルハキ、四也。嗚呼、曩ニ
ハ外征黷武ヲ以テ退キ民會設立
ヲ以テ進ミ後ニハ内閣分離ヲ以テ
退キ亦民會設立ヲ以テ進マントス
其朝ニ在ラ主張スル所ハ毎ニ專
制政治ノ説ニ出テ其野ニ在ラ主
張スル所ハ毎ニ民權擴張ノ議ニ
出ツ此人ニモテ若シ志ヲ得ルマラハ
其飛奔スル所モ亦知ルハキ也。非心

夫世人ノ眼孔豆ノ如クニモテ其心術
志標ノ在ル所ヲ察スルヲナク附和雷
同徒ラニ此世ヲ欺キ名ヲ盜ム者ノ為メ
ニ瞞着セラシテ覺ラズ依頼セラシテ
已レノ權利ヲ伸張セント欲スルヤ蓋
渴者ノ飲フナシ易ク飢者ノ食ヲ
ナシ易キ也

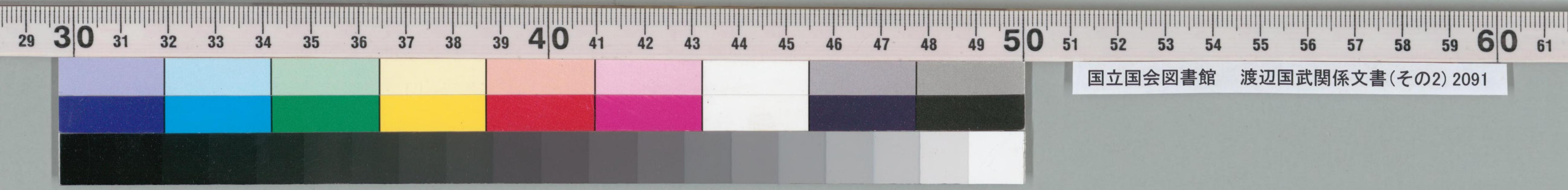
呈
休方大藏大輔閣下

小池國武謹言
松方大藏大輔閣下ニ白ス頃日内務
大丞松田道之一書ヲ國武ニ寄セ推
参事岩神昂進退ノ事ヲ報ス國武始
知リ
朝議ノ在ル所ヲ知リ竊カニ憂慮ス
ル所ナキ能ハス國武以為ク岩神ノ
本縣ニ於ル勲焉越ノ素アルニ非
ス一陪隸ヲ以テ御黨ヲ去リ忽然
大命ヲ銜ニテ至ル其人言ノ喋々夕



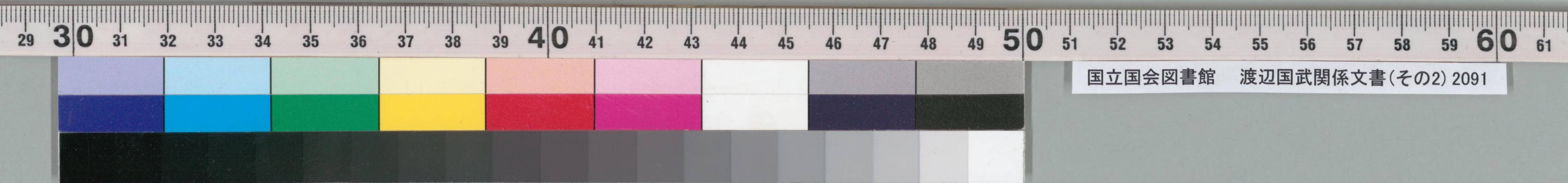
八固ヨリ怪シムニ足ラサル也而ノ
之カ為ソ功ナク又罪ナキノ次庭ヲ
進退スルノマヲハ
朝権ノ決シテ立ツ可ラサルノ事ミナ
ラズ将来益々士民跋扈ノ風ヲ長シ
頑愚得ラ制ス可ラサルニ至ニト遂
ニ内外ニ對シ百方之ヲ保護シ以テ
今日ニ至ル尚數月ノ久キヲ経テ
罪ノ目始メテ定ルマヲハ之ヲ内務
卿閣下ニ上陳シ敢テ進退ノ決ヲ乞

ハニト欲セリ區々ノ心事未タ上徹
セズ人言早ク内ニ行ハレ進退早ク
内ニ決シ赴任以來數旬ノ杞憂一朝
水泡ニ属スルヲ覺フ然レ氏事已ニ
此ニ至リ中外モ亦之ヲ傳播ス捲卷
事ノ才固出敢テ亦之ヲ言ハス別ニ
一事ノ
閣下ヲ累サニト欲スルモアリ抑
今日人言ノ岩神ニ喋々タル事ハ
以テ取ルハキナク目ノ以テ擧クヘキ



大ニ然リ而尚且此ノ如ニ徐カニ將
来ヲ思フニ本縣事務ノ急ニ着手改
正セザル可ク非レモノ指ヲ屈スレ
ハ一ニシテ足ラズ南波土佐西國乃
方ノ民ハ未タ以テ甚ク治メ易キノ
民ト云可ラス一朝ヲ下スニ至ラハ
人言ノ日ニ
湖下ニ至ル將ニ今日ノ岩神ニ相信
獲下凡モ有ニトス
内務卿閣下果ニテ能ク任ズラ疑ハ

サレヲ得ニカ
朝議果ニラ能ク為メニ勤カサレヲ
保タシカ人言ノ内ニ行ハシテ外任
ノ安カラサルハ古今ノ通患也モシ
之ヲ事理ニ徴セスニテ之ヲ人言ニ
裁セハ賢宰哲輔ト云凡將ニ免レサ
ルモノアラコトス何況ヤ地方官ノ
下流ニシテ謗議ノ多キニ於テヤ
岩神已ニ霜ヲ覆ム早晚堅氷ノ至ル
ヲ見ルアラコトス方今地方ノ職ニ



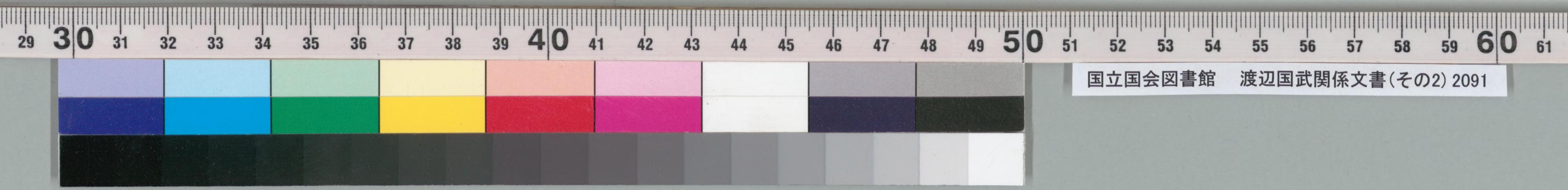
處ル 爰々斗トニテ 殆ヒ哉 國武モ亦
夫ニテ 其名節ヲ 全フスル 能ハサレ
ヲ知ル 然リト云 凡方今 外事僅ニ 緒
ニ就キ 内治將ニ 擧フニト スルニ 當
リ 曩ニハ 西海山陽ノ 警マリ 次テ 茨
城ニ 重等ノ 暴擧マリ 道路或ハ 云フ
唐兒島縣下モ 尔乎 德ナラズ 天下ノ
幸將ニ 圖ラシサニト ス 訛言籍々
苟クモ 職ヲ 地方ニ 奉スル者 曾所食
ヲ忘レ 以テ

政府ノ 大権ヲ 守リ以テ 人民ノ 幸福
ヲ得スヘキノ 時ナリ 國武 此際ニ 在
テハ 死生且ツ 顧ミス 亦敢テ
朝議如何 將來ノ 禍福如何ヲ 圖ルニ
暇アラズ 安リニ 努キル 在ル所ヲ 尽
シ以テ 其ノ 罪ニ 安
閣下人ヲ 知ルノ 明ヲ 換セサニテ
期ス 國武ノ 不肖 未夕以テ 甚夕 易シ
トセスト 云 凡亦以テ 甚夕 難ニトセ
ス

閣下モ之從容之ヲ
内務卿閣下ニ談キ諛諂ヲ未然未然
ニ塞キ固執ヲニテ内顧ノ憂ナカ
ラニソ唯大義ノ在ル所ヲ取テ以テ
明カ白ク地ニ其功罪ヲ定メ曖昧模
糊ノ人言ヲニテ其間ニ入ル能ハ
ラニソハ將來國或力罪万死ニ抵ル
ト云氏亦追悔ナニ曩ニ
命ヲ
閣下ニ拜スルノ日固辭ニテ取テ就

カガルモノハ簡以テ
朝廷ノ大権ヲ辱ニメス以テ人民ノ
幸福ヲ全フセシメテ下欲ニテ也今
日已ニ任ニ赴クニ及ニテ人言ノ内
ニ行ハルニテ憂フルモノハ確乎不
拔以テ
朝廷ノ大権ヲ張リ以テ人民ノ幸福
ヲ長セシト欲ニテ也一進一退未タ
必ニモ一點ノ私情ヲ其間ニ置カス
閣下ノ高明之ヲ裁スルアリ乙嗚呼

悠々心事ハ唯



人情ハ免レサレモハハ御情ナリ推
參事岩神昂ヲシテ功ナク又罪ナク
快々トシテ御里ヲ去ラシム目出
心事果シテ如何ソヤ人月ハ
内務卿閣下更ニ同人ニ委スルニ一
地方ヲ以テシ其石筋右望ヲ全テセ
シムルニ非ルヨリハ太々恩少シト
云フハキ也伊集院兼善ハ老鍊厚重
ノ士果シテ意気相投スルヲ知ル然
リト云氏離間恐ラクハ又其際ニ入

ラニ是モ亦

閣下ノ一言ヲ累ハサ、ルヲ得サレ
也不堪千願万祈之至

明治九年十二月二十八日 小池園哉

柘方大藏大輔閣下

人情之免... 人心之欲... 又非... 心事... 内務... 地... 世不... 隱... 元...

